

**論点等説明シート**

事業名 【執行府省】	復興水産加工業等販路回復促進事業 【農林水産省】						
事業開始年度	平成24年度						
終了(予定)年度	平成32年度 (令和2年度)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度 (令和元年度)	32年度要求 (令和2年度要求)	
	予算の 状況	当初予算	1,802	1,477	1,254	1,227	
		補正予算	-	▲ 186	-		
		前年度繰越(+)	-	-	-		
		翌年度繰越(-)	-	-	-		
		予備費等	-	-	-		
		計	1,802	1,291	1,254	1,227	0
	執行額	1,601	1,212	1,159			
	執行率(%)	89%	94%	92%			
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	89%	94%	92%				

**事業の概要**

1 復興水産加工業等販路回復促進指導事業(補助率:定額)  
被災地の水産加工品等の販路回復等に向けた個別指導及びセミナー、商談会等の開催、被災地産水産物の安全性をPRするためのセミナー・講習会等の開催を支援。

2 水産加工業等販路回復取組支援事業(補助率:2/3以内、定額)  
個別指導を踏まえ、必要と認められる場合には被災地の水産加工品の販路の回復・新規開拓等に向けた、漁業者、加工・流通業者又はそれらの団体が実施する取組に必要な加工機器の整備、放射能測定機器等の水産物の安全性を確保するための機器の導入、マーケティング等の経費を支援。

3 加工原料等の安定確保取組支援事業(1/2以内)  
被災地において加工原料を確保するため遠隔地から調達する際の運賃の掛かり増し経費の一部等を支援。

**論点等**

○具体的な選定理由  
・復興創生期間終了を見据え、事業の進捗状況を確認し、終期を検討する必要がある。

○論点  
・アウトカムの達成度が年々下がっているが、これまでの事業によりどの程度水産加工業が復興しているのか  
・復興創生期間終了までのニーズを的確に把握しているか。  
・今後のアウトカム達成に向けて、どのような道筋を検討しているか。  
・事業の終期は適切か。  
・予算額は妥当か。  
・一般会計の事業との競合性はないか。